

平成19年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成19年4月6日	記入者		連絡先	3392
平成18年度部名	土木部	課名	下水道管理課	課長名	小菅庸夫
平成19年度部名	土木部	課名	下水道管理課	課長名	河本公文
事務事業名	雨水浸透施設設置助成事業				
予算上の事務事業名	雨水浸透施設設置助成事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32620		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				
施策名	第2施策 雨水対策の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市雨水浸透ます設置助成金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)		5 事業開始年度	平成13年度	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
望ましい水環境について市民の意識高揚を促して、雨水浸透ますを広く一般住宅等に設置してもらい、雨水の流出抑制及び地下水の保全を図ること等により、安全で潤いのある水環境への回復に資する。			(2) 対象(誰、何)		
			市全域(城山町、津久井町、相模湖町、藤野町を除く)		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
雨水浸透ます設置助成金交付申請 新築家屋 26件 98基 686,000円 既存家屋 1件 2基 20,000円					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	相模原市・助成額 新築家屋1基7,000円既存家屋10,000円 八王子市・助成額1基 26,000円～44,000円 座間市・助成額 新築・既存家屋12,500円 ・雨水ます 相模原市 300×H400以上 透水シート 八王子市 350×H600 透水シート・砕石 座間市 300×H500 透水シート・砕石 H18年度申請件数 相模原市 27件 八王子市 27件 座間市 19件				
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	2,680	791	706	2,000	2,000
一般財源	2,680	791	706	2,000	2,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	203	66	57	137	137
事業コスト合計	2,883	857	763	2,137	2,137
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率	[単位:千円]				
事業名 (主たる事業名)	雨水浸透施設設置助成事業			対象名称 と単位	雨水浸透ます申請件数
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	2,883	857	763	2,137	2,137
対象数	95	31	27	65	65
単位あたり経費(円)	30,347	27,645	28,259	32,877	32,877
前年度比		0.91	1.02	1.16	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	申請件数（件）	指標式と指標の説明	申請件数 申請状況の推移をみる		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	95.0	31.0	27.0		
目標	81.0	120.0	99.0	65.0	65.0
目標達成度（%）	117.3	25.8	27.3		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	申請への対応件数（件）	指標式と指標の説明	設置件数 申請への対応状況をみる		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	95.0	31.0	27.0		
目標	95.0	31.0	27.0	65.0	65.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		雨水の流出抑制及び地下水の保全を図る手段として有効であり、今後も継続していくことが望ましい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
周知活動として、広報「さがみはら」への掲載、建築審査課及び民間確認検査機関（市内）にパンフレットを配架しPRを実施、排水設備の確認通知書交付に併せてパンフレットを配布、その他には、市民生活課発行の地域情報紙にPRを掲載し、事業の促進を図ってきた。今後もさらにPRに努める。			市民へ事業のさらなる周知方法を検討する。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・事業のPRを積極的に行い、利用促進を図る。 ・津久井地域への適用について検討する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			